

○男鹿地区消防一部事務組合消防長 及び消防署長の資格を定める条例

平成 26 年 3 月 31 日
条 例 第 1 号

(消防長の資格)

第 1 条 消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 15 条第 2 項に規定する条例で定める消防長の資格は、次のとおりとする。

- (1) 消防職員として消防事務に従事した者で、消防署長の職又は消防本部、消防学校若しくは消防職員及び消防団員の訓練機関における消防署長の職と同等以上と認められる職に 1 年以上あったものであること。
- (2) 消防団員として消防事務に従事した者で、消防団長の職に 2 年以上あったものであること。
- (3) 市町村の行政事務に従事した者で、市町村の長の直近下位の内部組織の長の職その他市町村におけるこれと同等以上と認められる職に 2 年以上あったものであること。

(消防署長の資格)

第 2 条 消防組織法第 15 条第 2 項に規定する条例で定める消防署長の資格は、次のとおりとする。

- (1) 消防吏員として消防事務に従事した者で、消防司令以上の階級に 1 年（管理者が定める教育訓練を消防大学校において受けた者については、1 年から当該教育訓練の課程に応じ管理者が定める期間を控除した期間）以上あったものであること。
- (2) 消防吏員として消防事務に従事した者で、消防司令補以上の階級に 3 年（管理者が定める教育訓練を消防大学校において受けた者については、3 年から当該教育訓練の課程に応じ管理者が定める期間を控除した期間）以上あったもの（前号に該当する者を除く。）であること。
- (3) 消防団員として消防事務に従事した者で、消防団の副団長の職その他消防団におけるこれと同等以上と認められる職に 3 年以上あったものであって、管理者が定める教育訓練を消防大学校において受けたものであること。

附 則

この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。